

ていないことです。約十二年間も交通事故で亡くなってしまった人がいないということです。父の新聞の切り抜きでそのことは知っていました。この間二ツ井にでかけるとき、矢坂の看板をみたらさらに記録がこうしんされていました。それだけ藤里町の人は、事故にあわないよう心がけているんだなあと感じました。

藤里小学校では、毎年四月に交通安全教室を行っています。四年生は、自転車の安全な乗り方をたしかめました。横断歩道では自転車をおりてわたる、曲がり角では車が来ないかしつかりかくにんするというのが、あらためてわかりました。これから、町の人たち、先生やけいさつの人の話をよく聞き、みんなで交通ルールを守り守っていききたいです。自分でも、事故のない安全な町であるために、事故にあわない、事故を起こさないように気をつけていきたいです。

『一人一人の心がけ』



伊藤絵梨華さん

私の住む藤里町では、交通死亡事故ゼロ日数が、二〇一二年八月七日に四〇〇〇日達成しました。これは、約十二年間続いているそうです。また、この記録は秋田県内一であり、町単位では東北一ということだそうです。現在は四三〇〇日を超え、さらに記録を伸ばし続けています。このことから、町民の皆さん一人一人が、毎日交通

ルールに気を付けているのだろうと感じました。『油断大敵』というように、少しの油断が大きな事故につながってしまうこともあるからです。

私も、左右を確認してから道路を渡ったり、坂道は自転車に乗らずに手で押して歩いたりなどと、基本的なことですが、必ず気を付けています。このような意識を持つだけでも、事故は起きにくくなるため、一番大切なことだと思うからです。

そのおかげで、私は事故に遭ったことはありません。しかし、事故現場を目撃したことは何度もあり、車が潰れてしまったものもありました。少しの不注意でこのような事故が起きてしまうこともあるから、とても怖いです。

また、最近自転車に乗る人で危険な行為をする人が増えています。中でも、傘さし運転や、音楽を聞きながら自転車に乗る人が多いようです。他にも並列走行や、スピードの出し過ぎなども危険な行為の一つです。これらの行為が、事故につながってしまいます。

私は以前、小学生の子どもが自転車に乗って坂を下っているときに、六十歳くらいの歩行者とぶつかってしまい、歩行者が転倒してしまったという事故を聞きました。このとき、小学生の子どもは多額の賠償金を払わなければいけなくなったそうです。しかし、この場合事故を起こしたのは小学生だったため、賠償金は親に請求されてしまったそうです。このような事故を起こしてしまうと、親にも迷惑をかけてしまうこともあるということです。しかし、事故を起こした人の年齢が十三歳以上である場合、その人に賠償金が請求されてしまうと聞きます。

した。私たち中学生も事故を起こしてしまうと、大変なことになると思います。事故一つで、人生が変わってしまうかも知れません。だから、私が普段気を付けている、「坂を下るときは、手で押して歩く」ということをするだけで、先ほどのような事故は防げたと思います。ニュースを見ていても、未然に防げていた事故がよくあります。そのような事故で命を落としてしまうのは、とても悲しいことだと思います。

このように、一人一人の心掛けで事故は少なくなるということです。そのおかげもあって、藤里町の交通死亡事故ゼロ日数は四〇〇〇日を達成できたのだと思います。これからも、交通死亡事故ゼロが途絶えぬように、交通ルールを守り、安全確認をしつかりとして事故の無いようにしたいです。また、車に乗っているときも、シートベルトを忘れずに、自分の身は自分で守りたいと思います。

『じいじルールをまもるよ』



淡路海地さん

学校で、こうつうあんぜんきょうしつがありました。おまわりさんがきて、こうつうルールをおしえてくれました。『おうだんはどうをわたる前に、右、左、右をちゃんと見て、手をあげてわたるんだよ。』

ぼくが、おうだんはどうをわたるのは、学どうに行くときです。ちゃんと、右、左、

右を見て、手をあげてわたっています。

ぼくはいえは、どうろのすぐそばにあります。おうさんとキャッチボールをするときボールをうしろにがすと、どうろにころがってしまうことがあります。ボールをひろおうとして、とび出してしまったことがあって、おうさんに何回もおこられました。あまり車がこないで、ゆだんしていたのです。でも、おうさんの話を聞いてからは、あわてないで、ちゃんと右、左、右を見てから、ボールをとりに行くようになりました。

「ちゃんと、できるようになったね。」と、おうさんにほめられてうれしかったです。

いもうとと二人で、いえの近くであそんでいると、いもうとは、どうろのまん中をはしったり、きゆうにどうろをわたったりすることがありました。だから、ちゃんと白い線の中を歩くことや、きゆうにわたらないことを教えてあげました。でも、たまに、ぼくが言ってもちゃんとやらないから、けんかします。おかあさんに、「そういうときは、手をつないであげてね。」と言われたので、ぼくは、いもうとと手をつなぐようにしています。

これからも、おまわりさんに教えてもらったことをまもります。おうさんやおかあさんの言うことを聞きます。いつでも、こうつうルールをまもって、じこにあわないようにします。そして、いもうとや一年生にも、教えてあげたいと思います。